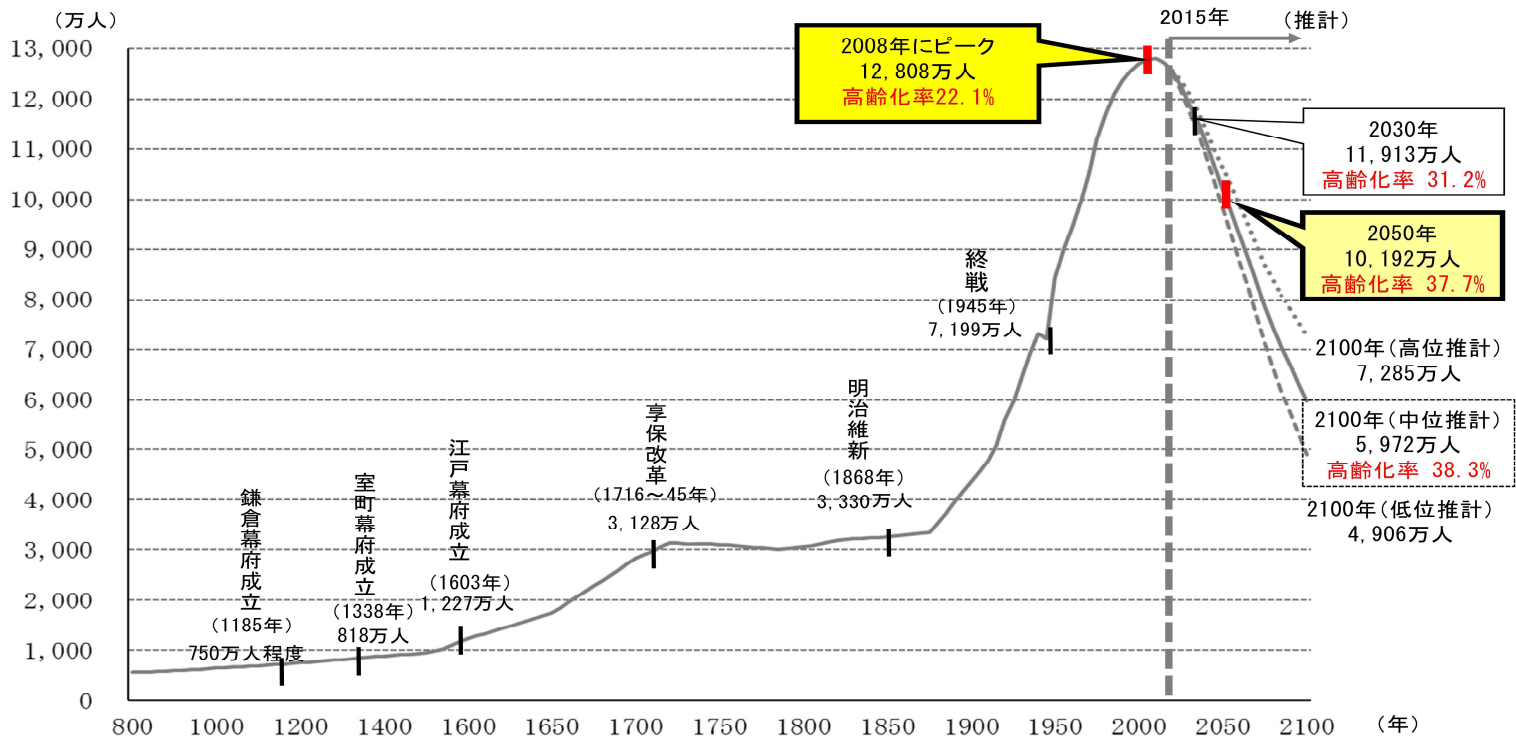


### 1 日本の総人口の将来推計

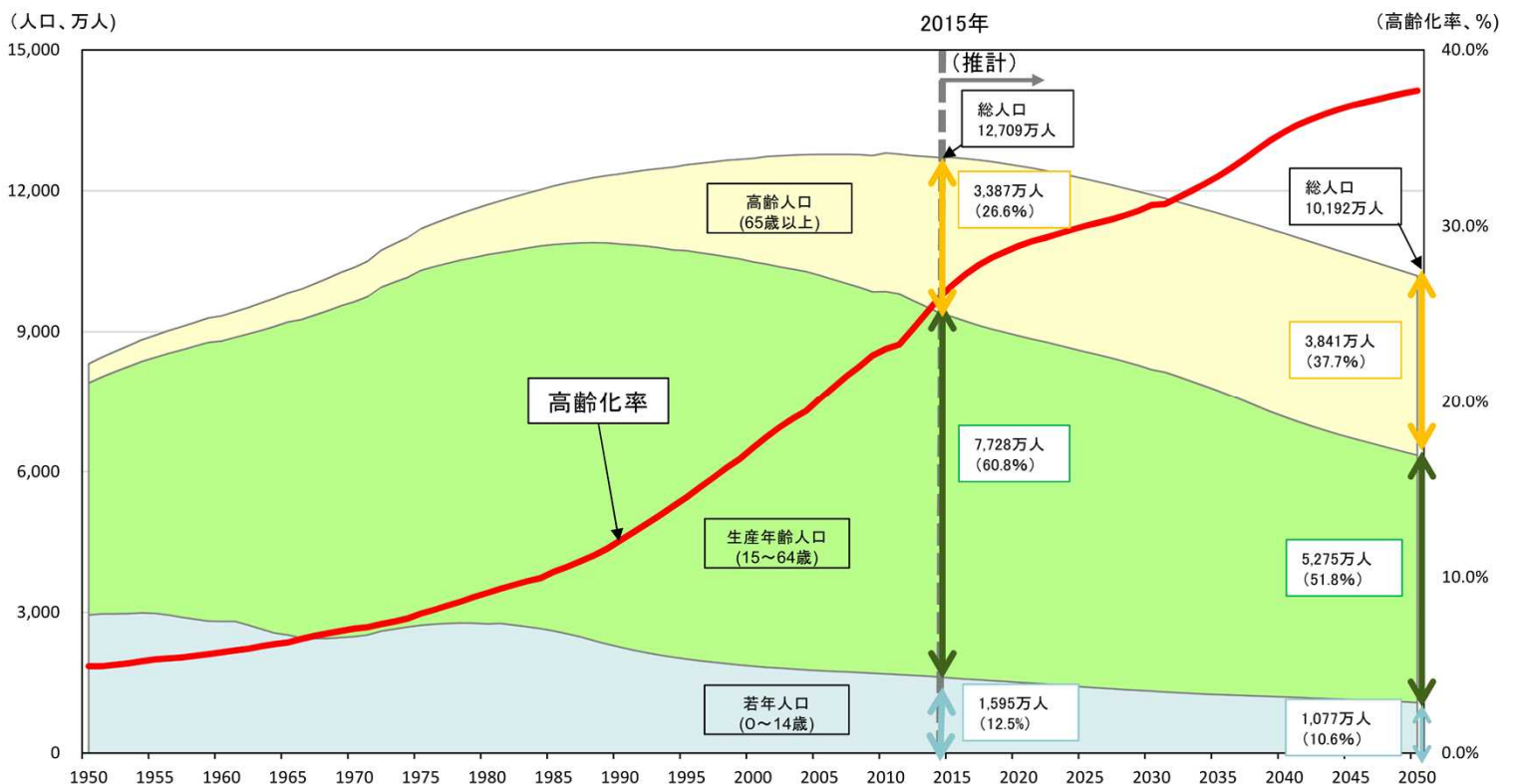
日本の総人口は、2008年をピークに減少傾向にあり、2050年には約1億人にまで減少。



(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」

### 2 日本の年齢構成別人口の将来推計

2015年から2050年にかけて、生産年齢人口が2,453万人減少する一方、高齢人口が454万人増加。高齢化率は約27%から約38%へ上昇。



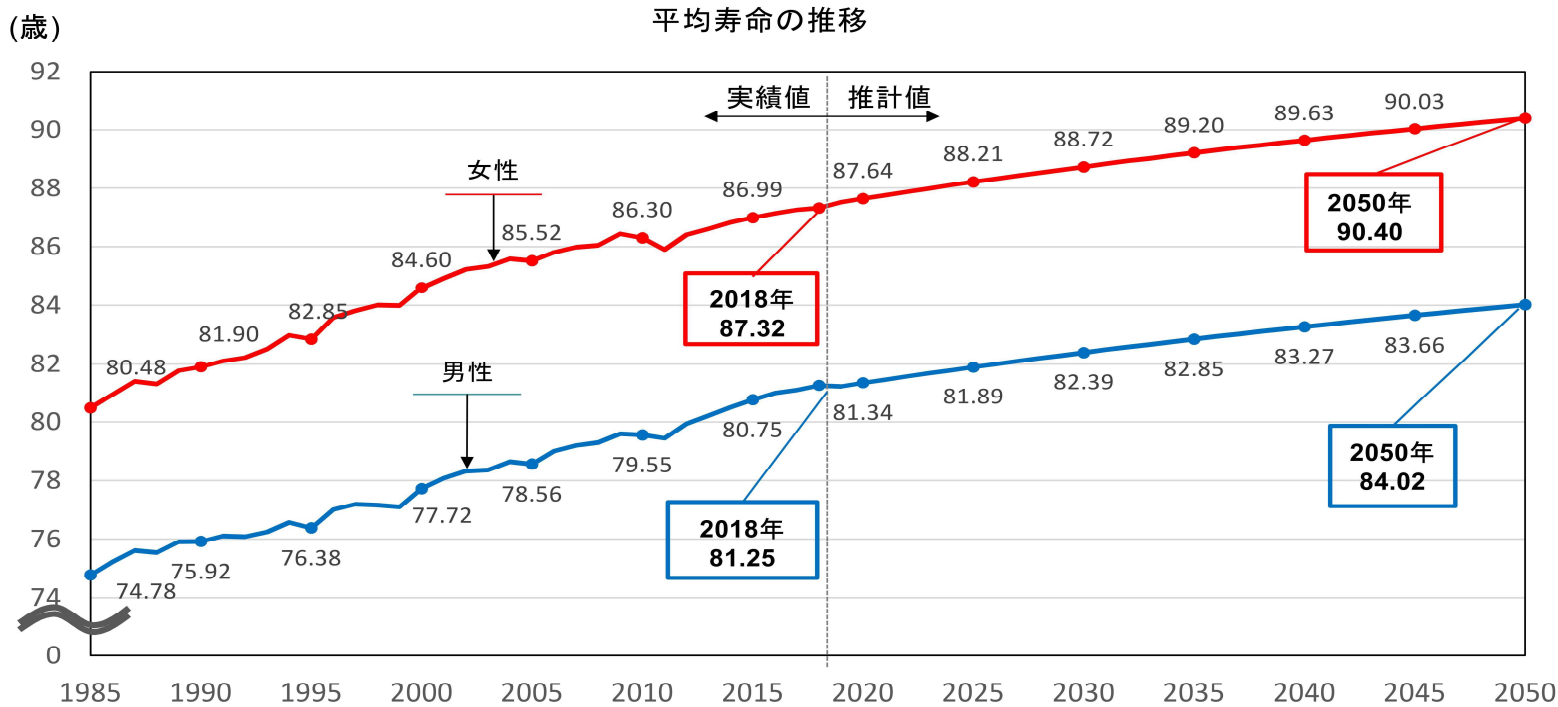
(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」

# 【時代の潮流①】人口減少・超高齢化の進行（2）

## 3 平均寿命の延伸

## 人生100年時代の到来

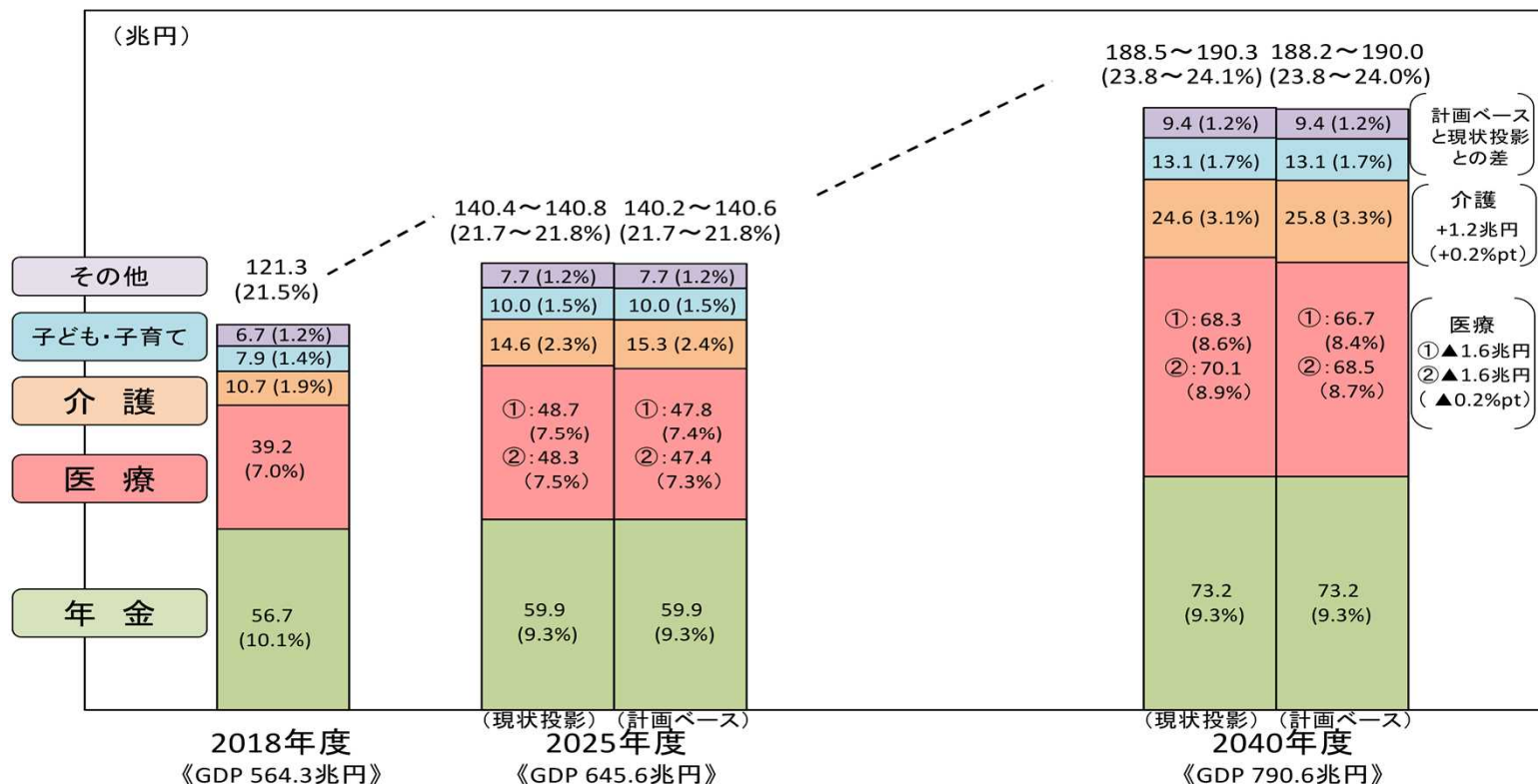
全国の平均寿命は、2050年までに3歳程度延伸する見込み。



(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」

## 4 日本の社会保障に係る費用の将来推計

社会保障費は、2018年度の121.3兆円から2040年度の約190兆円まで増加する見込み。特に医療費・介護費の増加が急激に上昇。



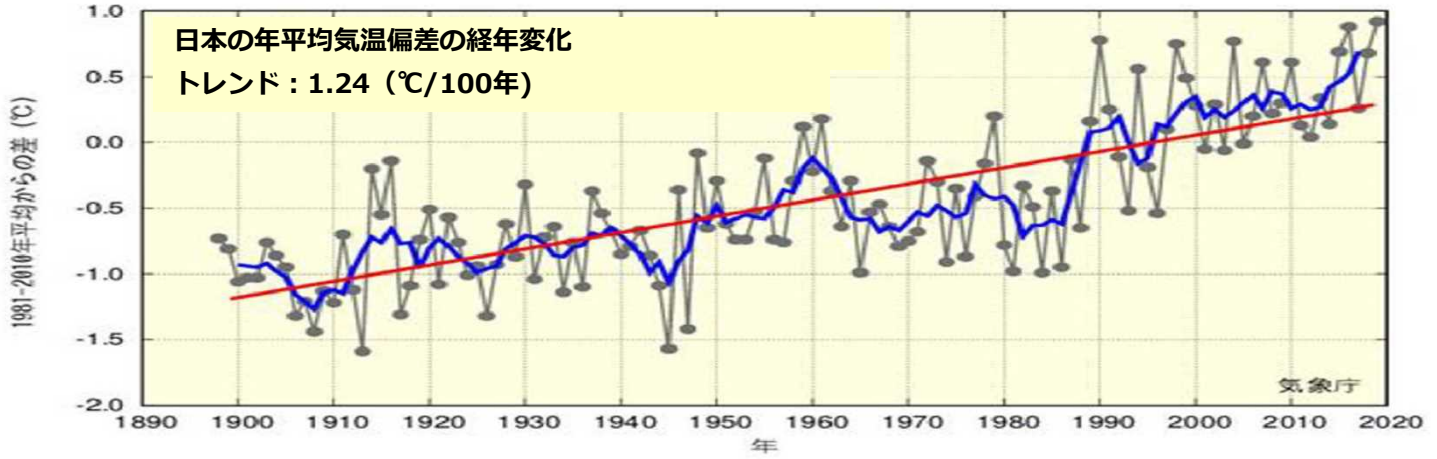
(注1) ( )内は対GDP比。医療は単価の伸び率について2通りの仮定をおり給付費に幅がある。  
(注2) 「現状投影」は、医療・介護サービスの足下の利用状況を基に機械的に計算した場合。「計画ベース」は、医療は地域医療構想及び第3期医療費適正化計画、介護は第7期介護保険事業計画を基礎とした場合。

(出典) 内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し」

# 【時代の潮流②】気候変動・自然の脅威（1）

## 1 温暖化の進行

- ▶ 日本国内の15地点で観測された年平均気温は、過去100年で1.24℃上昇。
- ▶ **今後、猛暑日、熱帯夜の日数が増加する一方で、冬日の日数は大きく減少する見込み。**
- ⇒ **気候変動をはじめ、健康や生態系に悪影響を及ぼす可能性**



2℃上昇シナリオによる予測  
(パリ協定の2℃目標が達成された世界)

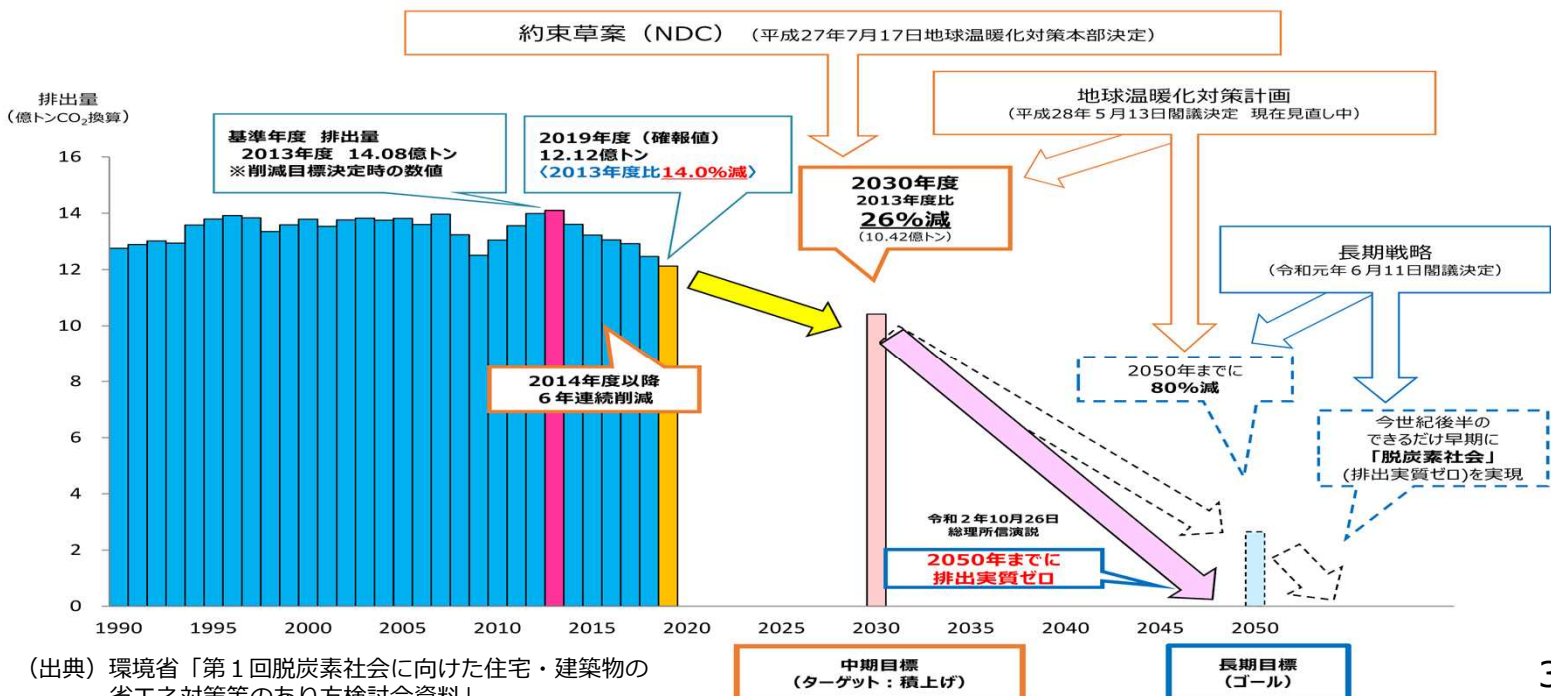
4℃上昇シナリオによる予測  
(現時点を超える追加的な緩和策を取らなかった世界)

	2℃上昇シナリオによる予測 (パリ協定の2℃目標が達成された世界)	4℃上昇シナリオによる予測 (現時点を超える追加的な緩和策を取らなかった世界)
年平均気温	約1.4℃上昇	約4.5℃上昇
猛暑日の年間日数	約2.8日増加	約19.1日増加
熱帯夜の年間日数	約9.0日増加	約40.6日増加
冬日の年間日数	約16.7日減少	約46.8日減少

(出典) 気象庁「日本の気候変動2020」による将来予測

## 2 日本の温室効果ガス削減の中期目標と長期目標

- ▶ **日本政府は、2020年10月に2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を宣言。**



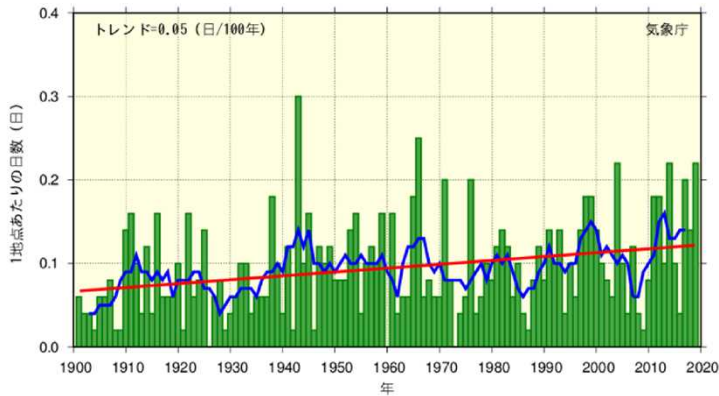
(出典) 環境省「第1回脱炭素社会に向けた住宅・建築物の省エネ対策等のあり方検討会資料」



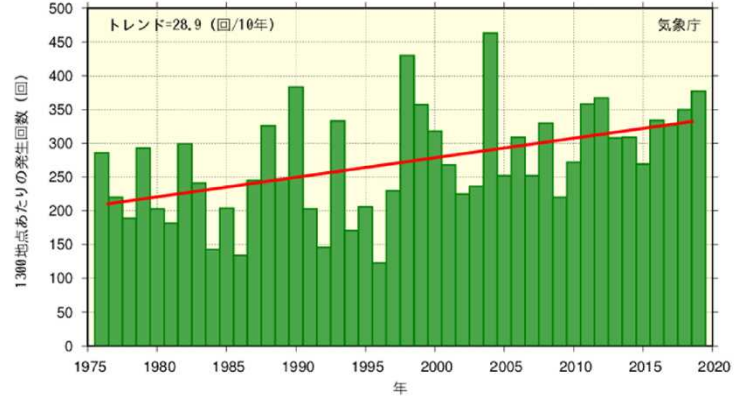
## 【時代の潮流②】気候変動・自然の脅威（2）

### 3 風水害の激甚化

日本国内の大雨及び短時間強雨の発生頻度が増加傾向。今後も雨の降り方が極端になる傾向が続くと予測され、風水害の激甚化・頻発化が懸念される。



日降水量200mm以上の大雨の年間日数の経年変化



1時間降水量50mm以上の短時間強雨の年間発生回数の経年変化

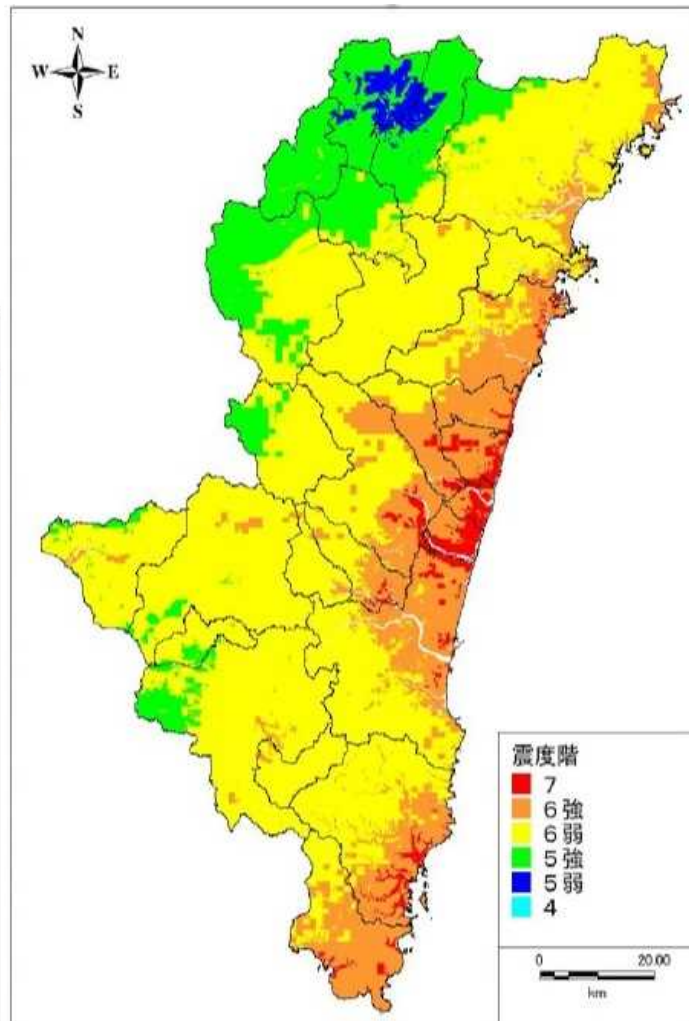
(出典) 気象庁「日本の気候変動2020」

### 4 南海トラフ地震

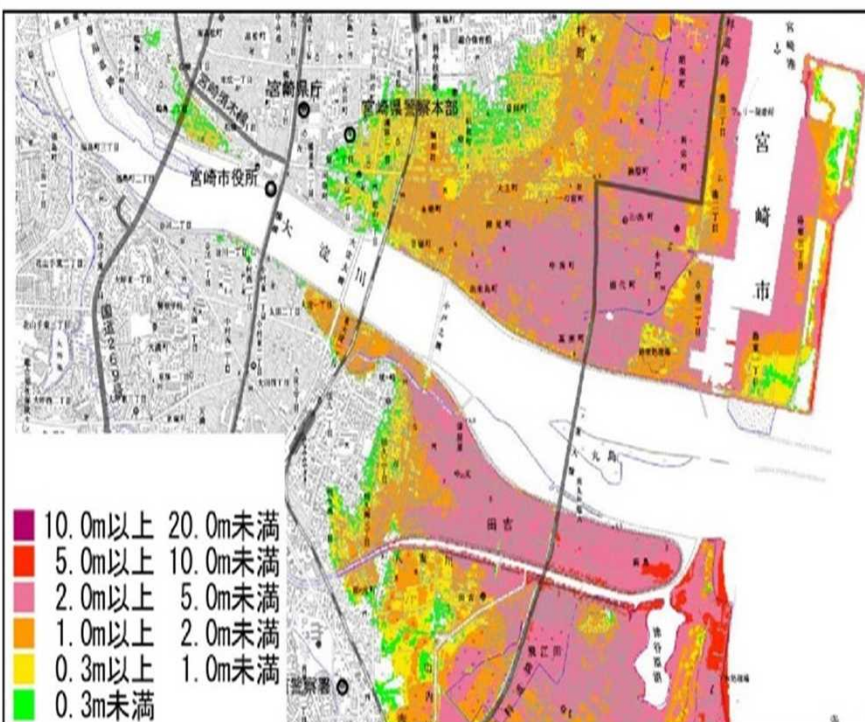
**発生確率：今後30年以内に70～80%程度**

発生した場合、県内全域は強い揺れに襲われ、沿岸部では津波により広範囲が浸水すると想定されている。

- 人的被害（死者数）：約15,000人
- 建物被害（全壊棟数）：約80,000棟



地震動想定（震度分布）



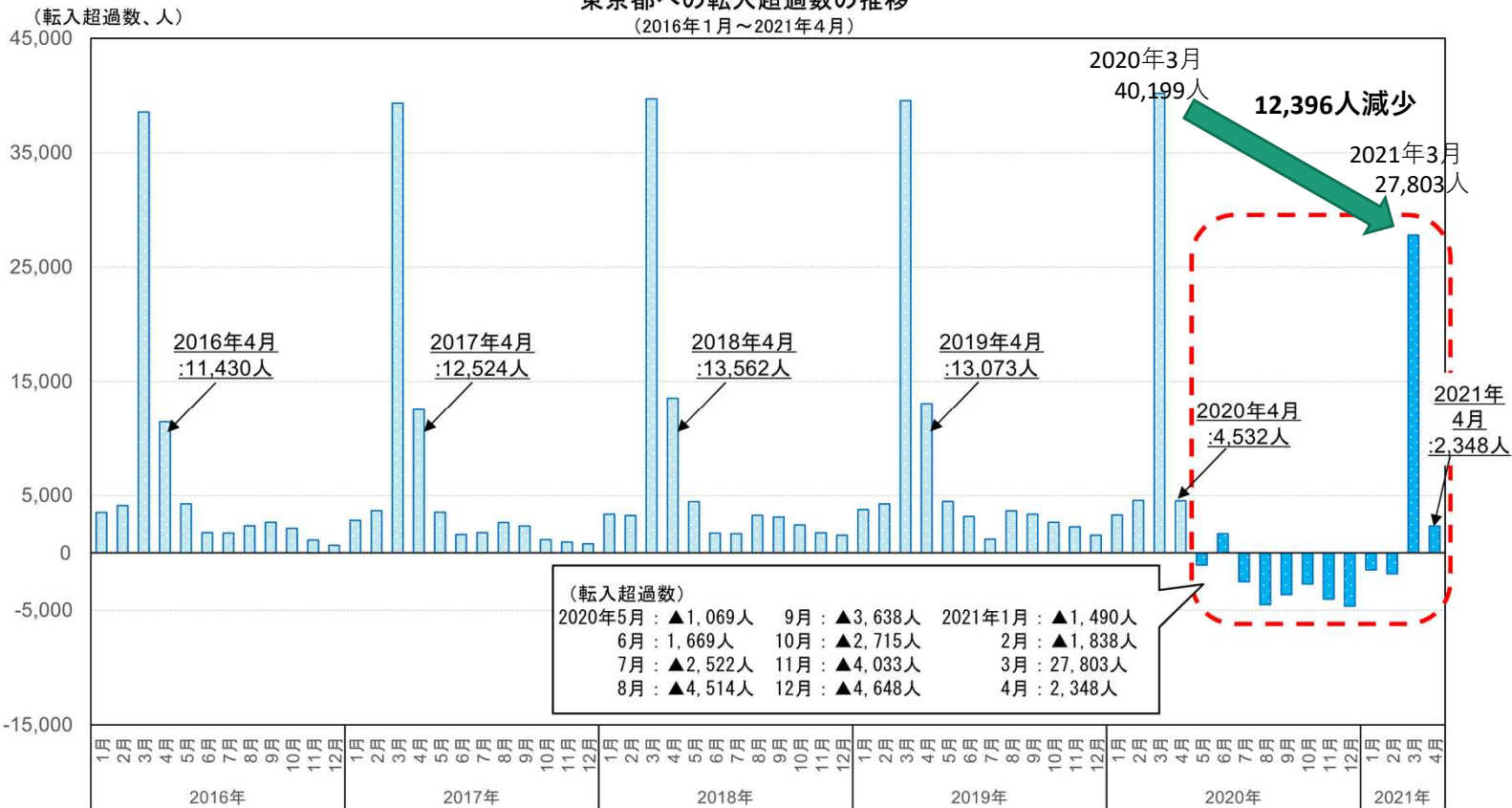
津波浸水想定

# 【時代の潮流③】 地方回帰の高まり ～地方分散型社会へ～ (1)

## 1 東京一極集中から地方分散の動き

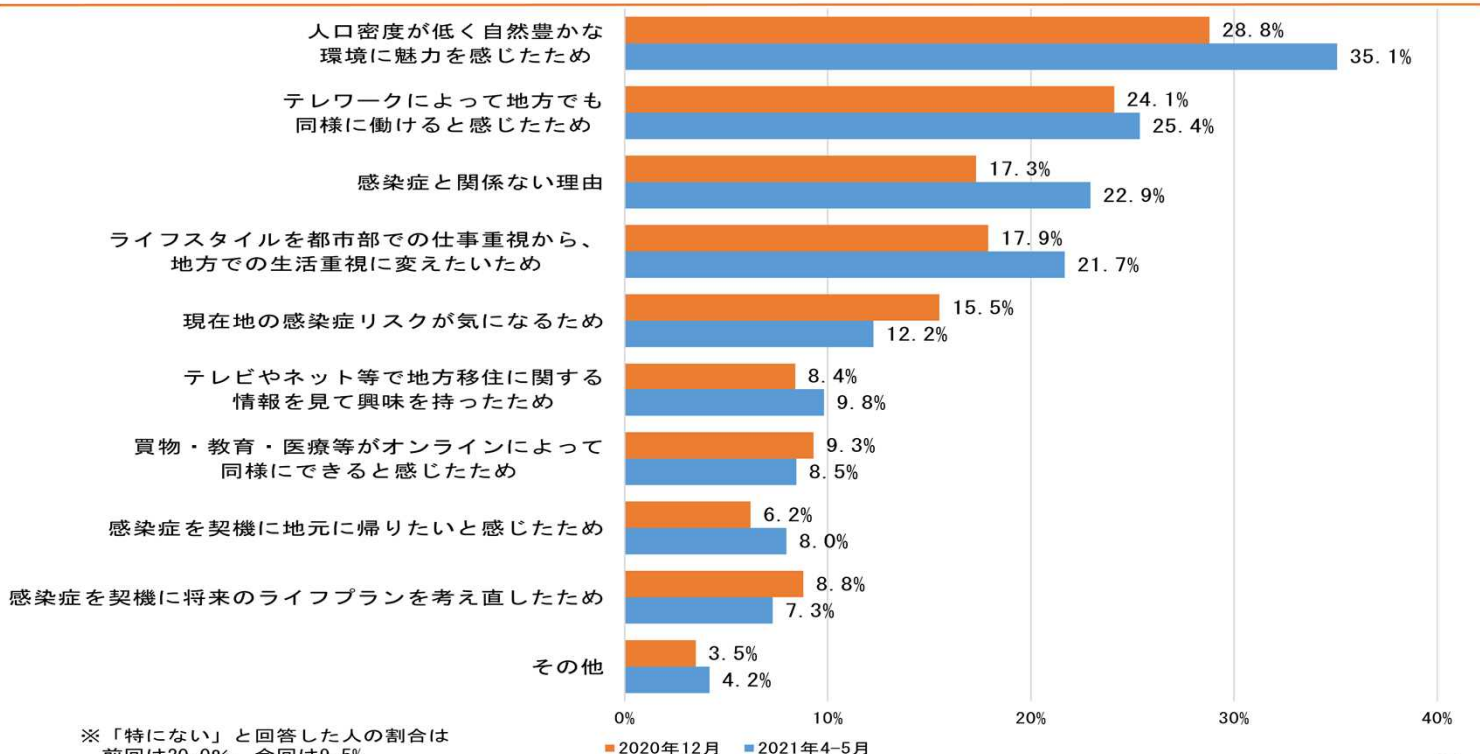
新型コロナの拡大によって、都市部の人口密集のリスクが顕在化したとともに、テレワークの急速な拡大によって、時間や空間の制約を受けずに働くことができる人が増加するなど、長年続いてきた都市部への人口集中の流れが緩和し、地方移住の動きが見られる。

東京都への転入超過数の推移  
(2016年1月～2021年4月)



(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」

### 3. 【地方】 地方移住への関心理由 (東京圏在住で地方移住に関心がある人)



(出典) 内閣府「第3回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」



## 【時代の潮流③】 地方回帰の高まり ～地方分散型社会へ～（2）

### 2 持続可能で多彩な地域生活圏の形成

国土交通省「国土の長期展望最終とりまとめ」より

#### ○地域生活圏の範囲の目安

以前は「人口30万人前後で、時間距離で1時間前後の範囲」  
（都市的機能をリアルにフルセットで提供することを前提）

#### 「人口10万人前後で、時間距離で1～1.5時間前後の範囲」

都市的機能の一部はデジタルで提供可能  
（リアルでフルセットを維持可能な人口規模は不要）  
都市的機能の整備進展、住民の行動範囲の広域化  
デジタル技術を暮らしに実装しやすい人口規模 等

大多数の国民を地域生活圏に包含することが可能に

### 3 デジタルとリアルが融合する地域生活圏の取組

#### <デジタル化の推進>

- 行政・民間等の各種手続きや業務のデジタル化
- オンライン診療・教育等の環境整備
- デジタル技術の導入による生産性の向上
- テレワークの推進に向けた環境整備、副業・兼業等の雇用慣行の見直し
- 高齢者など地域住民のITリテラシー向上
- 様々なデータを共有するデータ連携基盤の構築等

#### <リアルの充実>

- 都市的機能の確保・持続的な提供
- 「コンパクト+ネットワーク」による効率的な地域づくり  
（中心市街地活性化、交通の利便性向上等）
- 良好な地域経済循環の構築・雇用の確保  
（金融機関・大学等と連携した成長産業の育成等）
- 農林水産業の生産性向上、農山漁村の人材確保
- 女性、高齢者等の社会参画や子育て環境の整備
- 地域分散型エネルギーシステムの構築
- 周辺地域とも連携した地域防災・国土管理の適正化
- 地域固有の文化等による魅力ある地域づくり 等

#### <デジタル×リアル>

- ビッグデータを活用した個人に対するきめ細やかな生活関連サービスの提供
- 対面と遠隔のベストミックスによる効率的で質の高い医療・教育等の実現
- 生活における様々な活動と移動・交通のシームレスな連携
- リアルタイムでの避難者情報の把握による災害時の迅速かつ的確な支援
- テレワーク等で地方に居住し都市の所得を得る“新たな暮らし”の実現 等

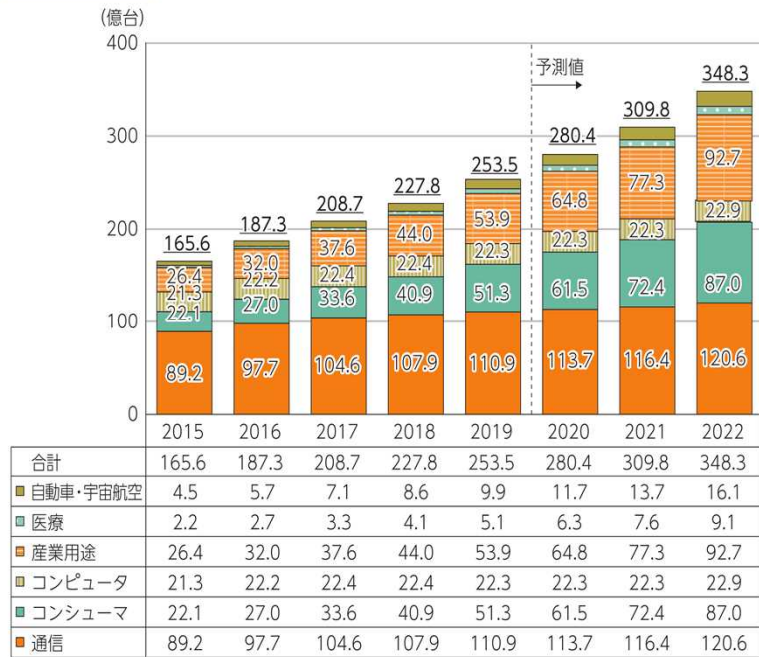
歴史・文化・自然環境等も活かして、個性ある多様な地域生活圏を形成

# 【時代の潮流④】 デジタル化・先端技術の進展（1）

## 1 デジタル・トランスフォーメーション（DX）

I o T、ビッグデータ、人口知能（A I）、ロボット等のイノベーションが急激に加速。国においては、「Society5.0」の実現に向けたD Xの推進に取り組んでおり、自動運転、遠隔診療、キャッシュレス決済等の活用に向けた様々な取組が進められている。

図表 1-4-1-28 世界のIoTデバイス数の推移及び予測



（出典）総務省「令和2年度情報通信白書」

（出典）Infoma

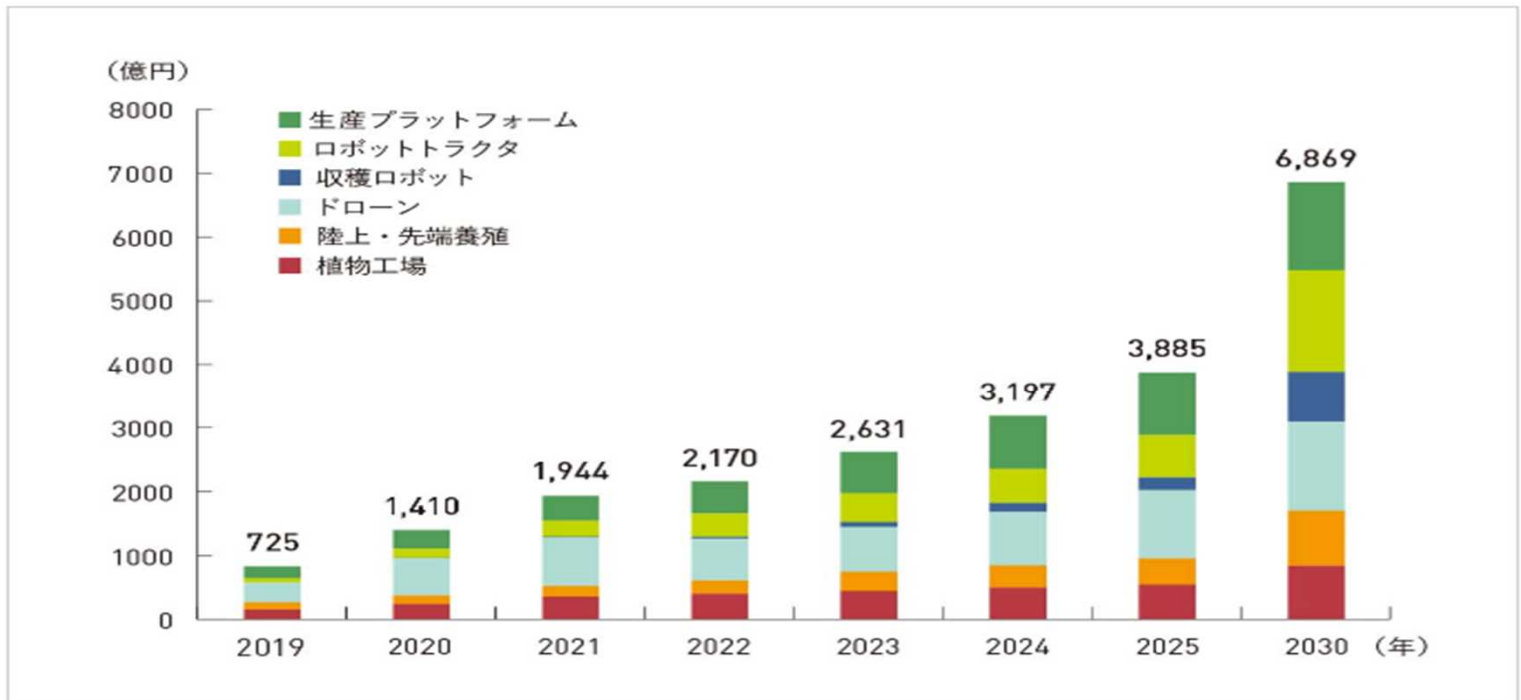
図表 2-4-3-4 5Gを活用した高度遠隔移動診療（総務省5G総合実証試験）



（出典）総務省「令和2年度情報通信白書」

（出典）総務省作成資料

## スマート農業国内市場規模推移と予測



『2030年のフード＆アグリテック』（NAPA編）の市場規模予測値から「次世代ファーム」「農業ロボット」「生産プラットフォーム」の部分を用いて算出。「農業ロボット」には、ドローン、収穫ロボット、ロボットトラクタを含む。本誌では流通プラットフォームはスマート農業の範疇に含めません

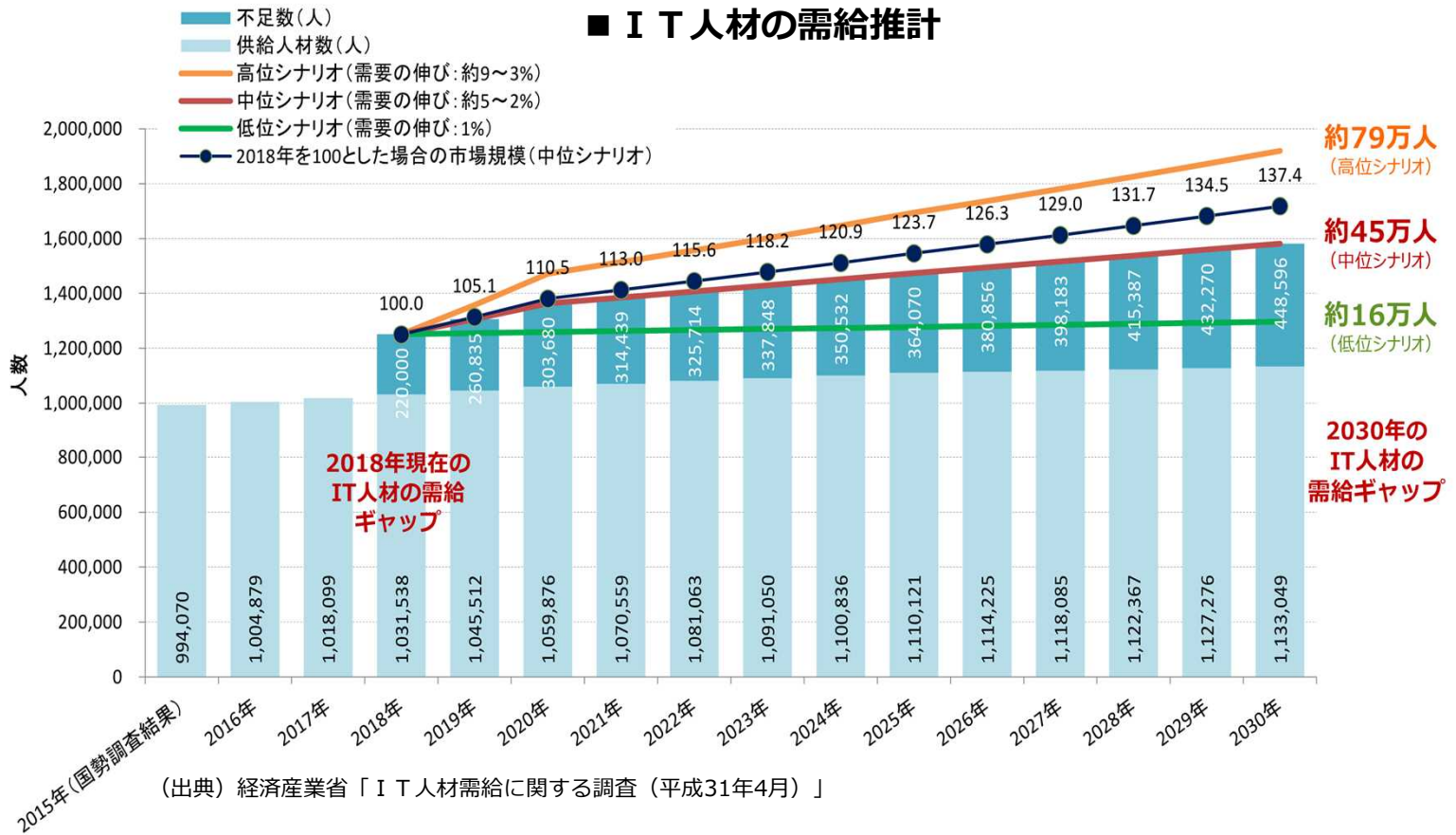
（出典）マイナビ農業ホームページ



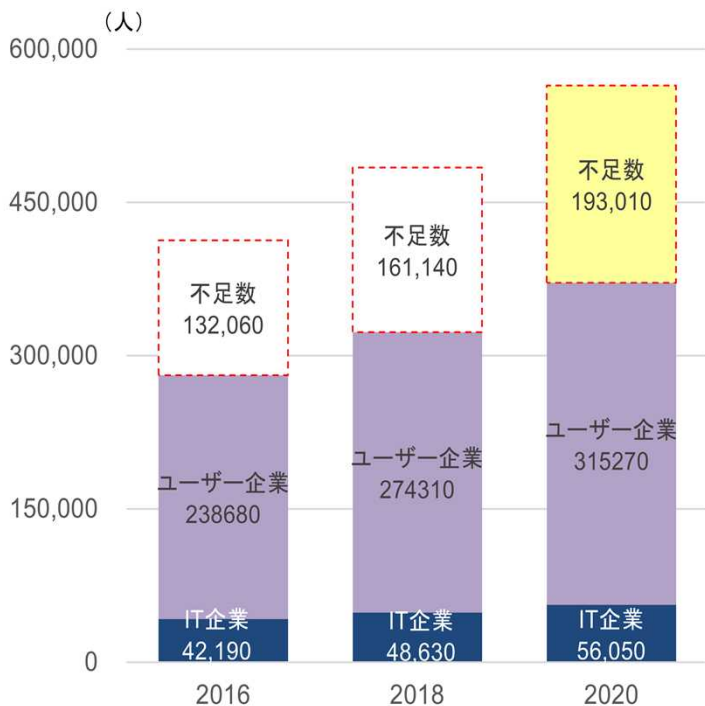
# 【時代の潮流④】 デジタル化・先端技術の進展（2）

## 2 先端IT人材の不足

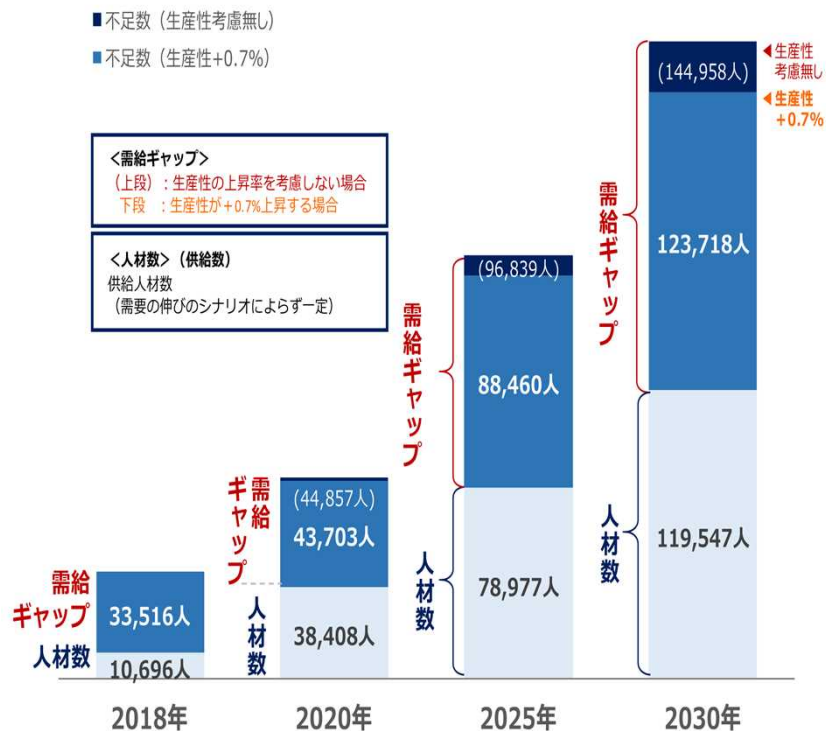
今後、AIやビッグデータ、IoT等に対応した新しいビジネスの担い手として、「先端IT人材」に対する需要が急速に増加すると見込まれる。



### ■ 情報セキュリティ人材の不足数推計



### ■ AI人材の需給推計



出典: 経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」(平成28年6月)より国土政策局作成

(出典) 経済産業省「IT人材需給に関する調査(平成31年4月)」

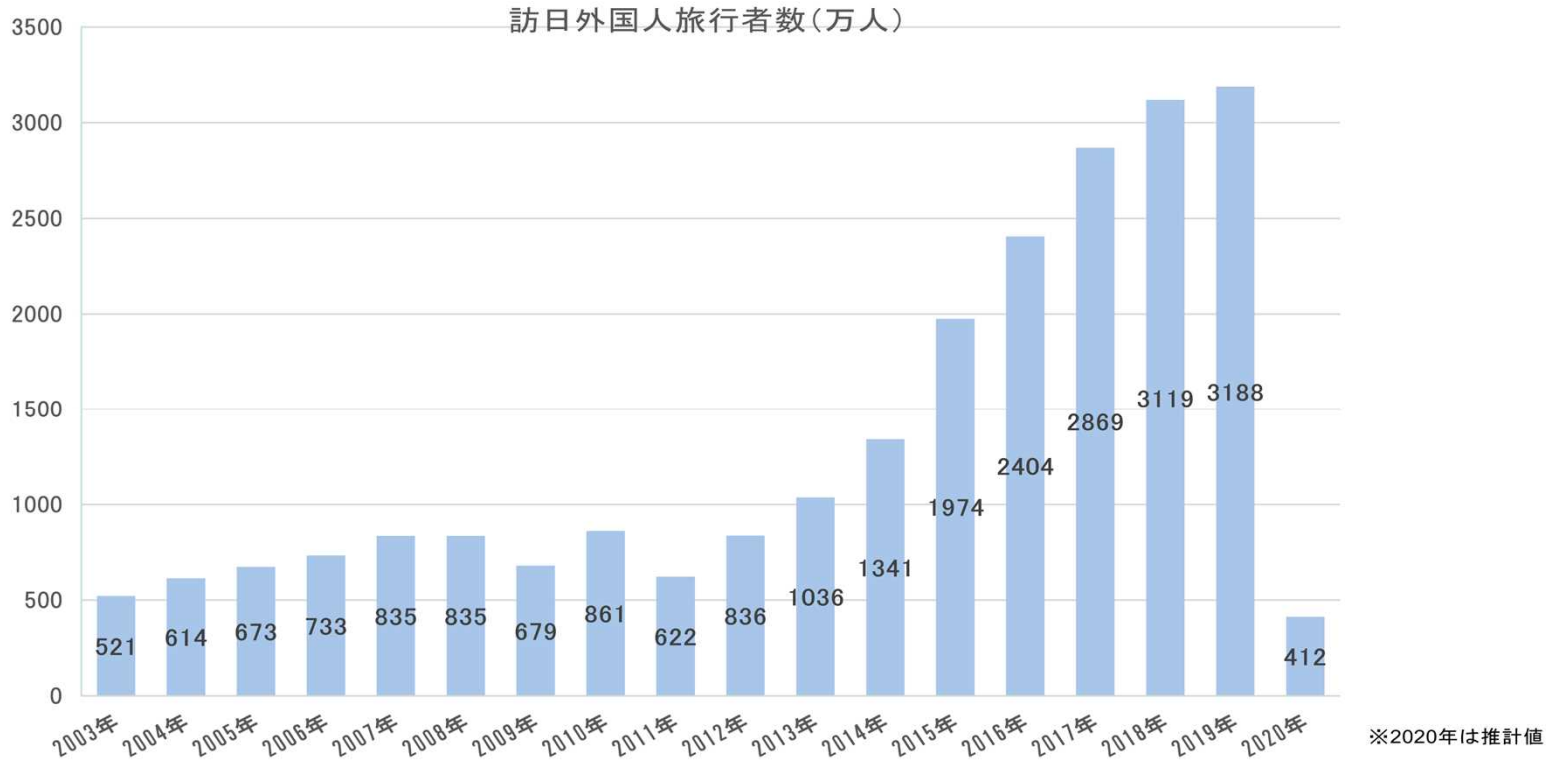
(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」



# 【時代の潮流⑤】グローバル化の潮流（1）

## 1 訪日外国人旅行者の増加

インバウンドは、2011年以降大幅に伸びてきていたものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2020年は推計で約400万人に留まる見込み。



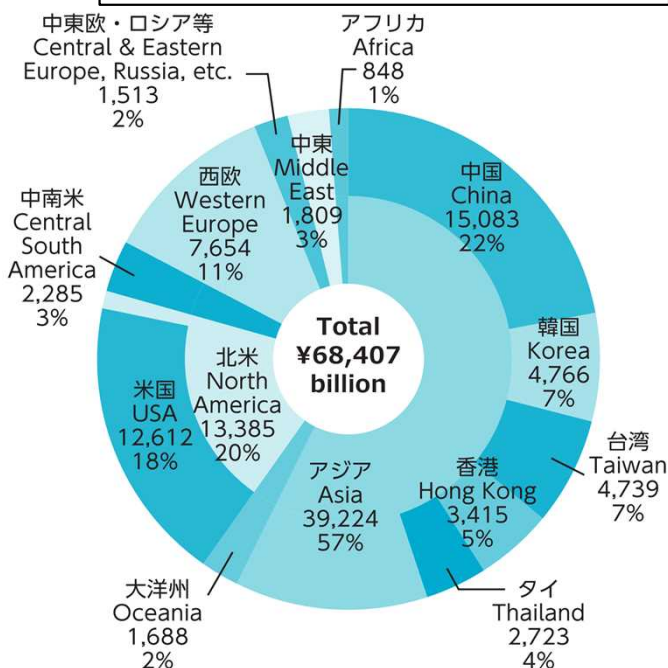
(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」

(出典)「訪日外客統計」日本政府観光局((JNTO)より国土政策局作成

## 2 貿易相手国はアジアが中心

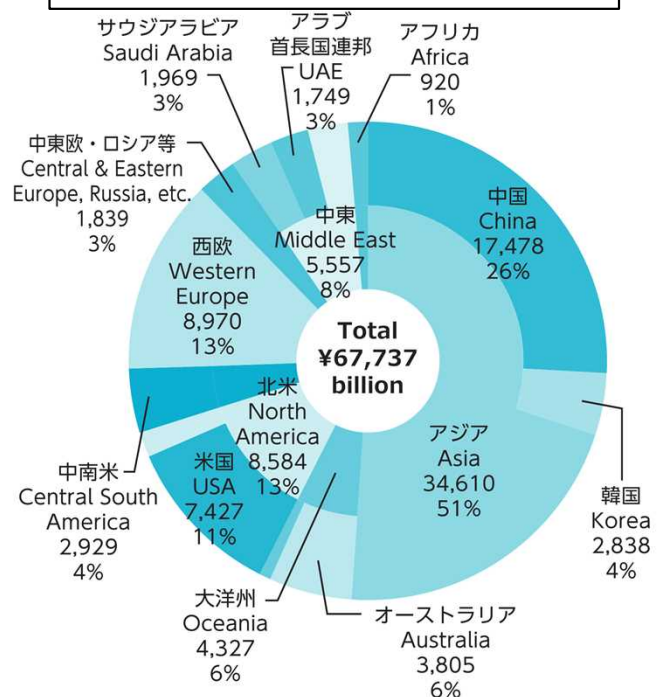
日本の貿易相手国は、輸出、輸入ともにアジアが5割以上を占める。

### 2020年 対世界輸出 (国・地域別)



(出典) 一般社団法人日本貿易会「日本貿易の現状2021」

### 2020年 対世界輸入 (国・地域別)



# 【時代の潮流⑤】グローバル化の潮流（2）

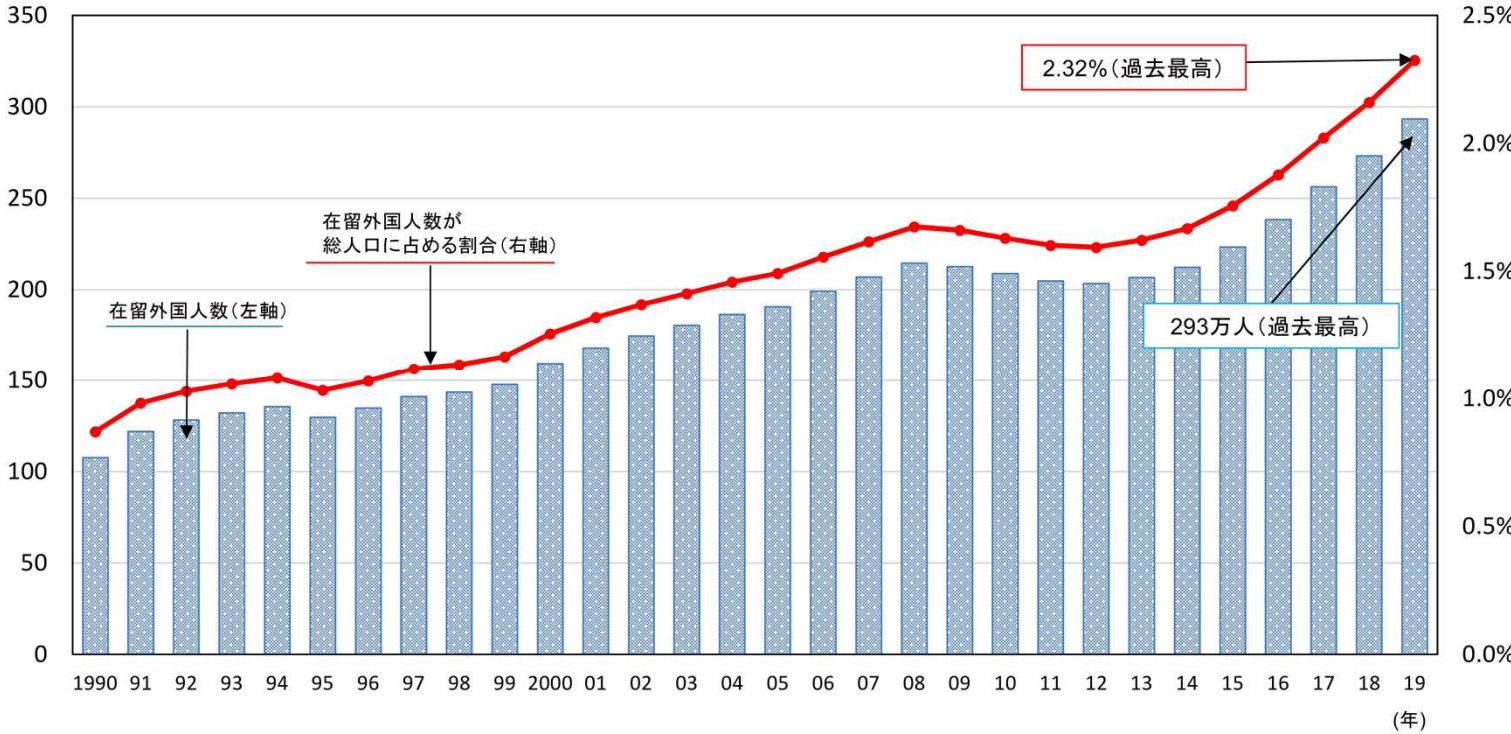
## 3 在留外国人の増加

在留外国人数は近年急激に増加し、2019年に過去最高の293万人。  
 在留外国人に帰化人口等を加えた「外国に由来する人口」は、**2065年には総人口の約1割**になる可能性。

在留外国人数の推移

(在留外国人数、万人)

(在留外国人割合、%)

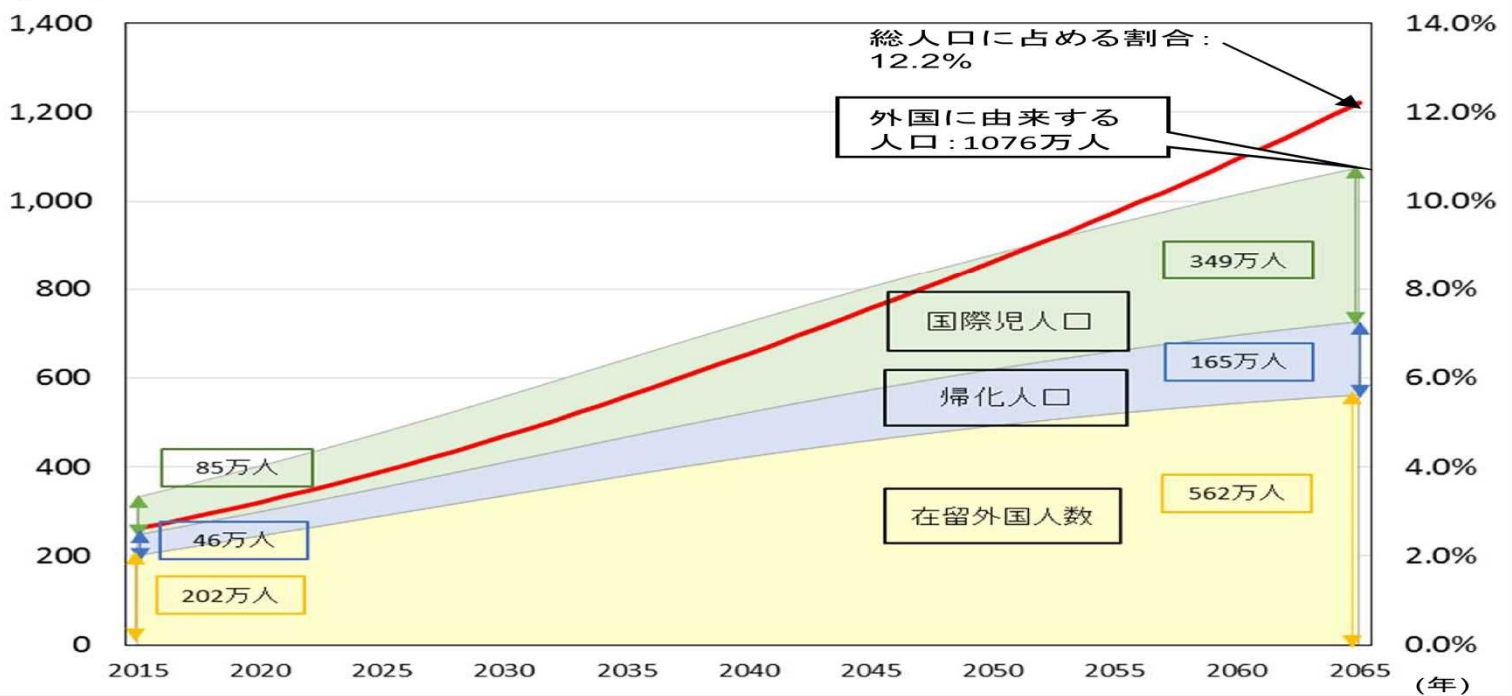


- (備考) 1. 法務省「在留外国人統計」、総務省「人口推計」(国勢調査実施年は国勢調査人口による)より作成  
 2. 1993年までは旧外国人登録統計における外国人登録者数、1994年から2011年までは旧外国人登録統計における外国人登録者数のうち中長期在留者に該当し得る在留資格をもって在留する者及び特別永住者の数、2012年末以降は在留外国人数を示している  
 3. 各年12月末の値を示している

## 外国に由来する人口の推移

(万人)

(総人口に占める割合、%)



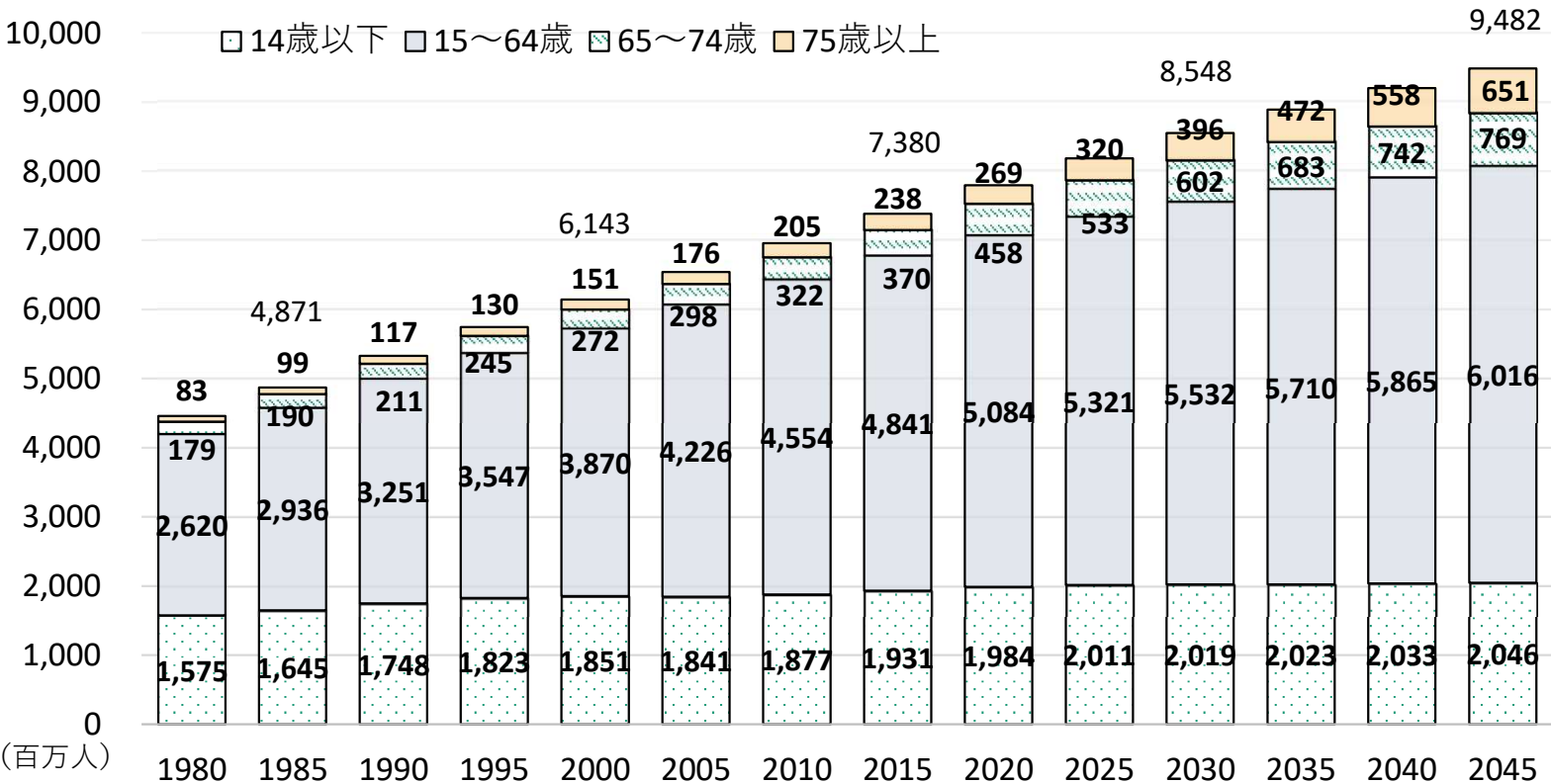
(出典) 国土交通省「国土の長期展望専門委員会最終とりまとめ参考資料」



# 【時代の潮流⑥】世界の動向

## 1 世界人口は増加傾向

世界の人口は今後も増加する見通し。 ⇒ **2045年には約95億人に**

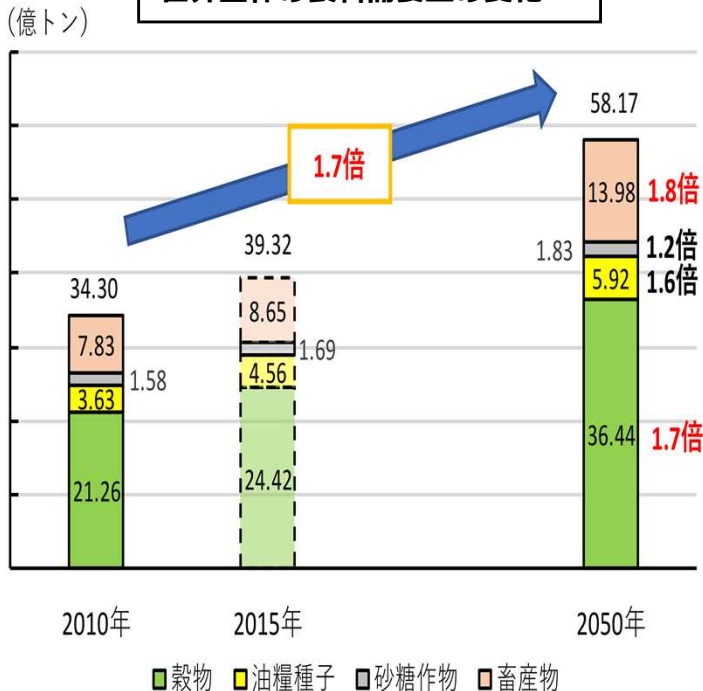


(出典) 国際連合「World Population Prospects2019」

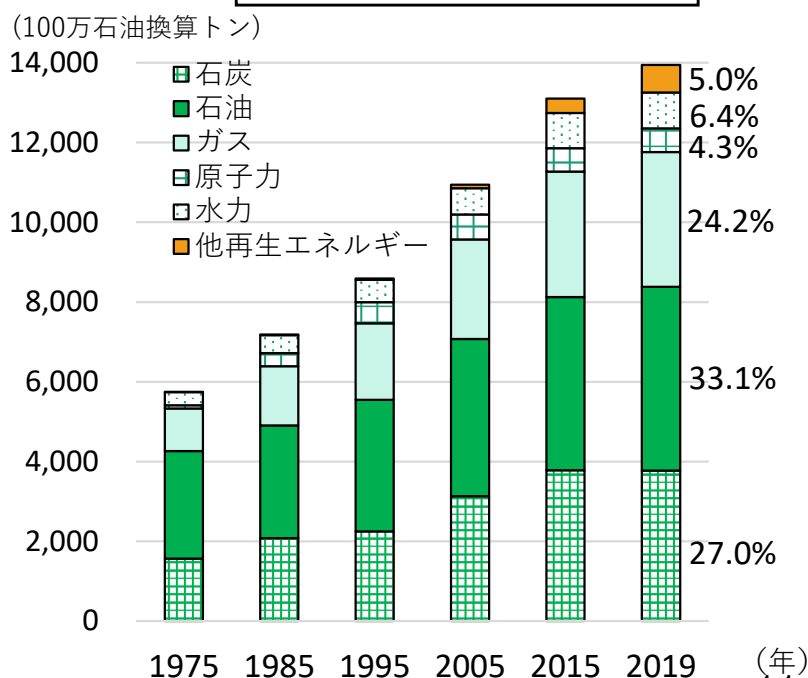
## 2 世界の食料・エネルギー資源が不足する懸念

世界の人口増加や世界的な経済活動に広がりにより、水・食料・エネルギーを含む資源の確保が大きな問題となることが懸念される。

世界全体の食料需要量の変化



世界のエネルギー消費量の推移



(出典) 農林水産省「2050年における世界の食糧需給見通し」

(出典) 資源エネルギー庁「エネルギー白書2021」